

令和3年度 科目等履修生の受け入れ可能授業科目一覧

授業科目名	単位	区分
文学	2	講義
法学(日本国憲法)	2	講義
社会学	2	講義
心理学	2	講義
音響学	2	講義・集中
音楽心理学	2	講義
生理学	2	講義・集中
医学概論	2	講義・集中
社会福祉	2	講義・集中
情報処理演習 I	2	演習
情報処理演習 II	2	演習
英語 I-1	2	4 講義
英語 I-2	2	
英語 II-1	2	4 講義
英語 II-2	2	
独語-1	2	4 講義
独語-2	2	
仏語 I-1	2	4 講義
仏語 I-2	2	
保健体育講義	1	講義
体育実技	1	実技
専門実技-1	2	4 実技
専門実技-2	2	
作編曲法-1	1	2 演習
作編曲法-2	1	
音楽史-1	2	4 講義
音楽史-2	2	
和声法 I-1	1	2 演習
和声法 I-2	1	
和声法 II-1	1	2 演習
和声法 II-2	1	
ソルフェージュ-1	1	2 演習
ソルフェージュ-2	1	
合唱 I-1/II-1	1	2 実技
合唱 I-2/II-2	1	
器楽合奏 I-1/II-1	1	2 実技
器楽合奏 I-2/II-2	1	
副科ピアノ-1	1	2 実技
副科ピアノ-2	1	
鍵盤和声 I-1	1	2 演習
鍵盤和声 I-2	1	
鍵盤和声 II-1	1	2 演習
鍵盤和声 II-2	1	
ピアノ伴奏法	2	講義
ピアノ特殊講義	2	講義
フルートオーケストラ I-1 /II-1	1	2 実技
フルートオーケストラ I-2 /II-2	1	
声楽アンサンブル I/II	2	実技
声楽特殊演習	2	演習
民族音楽学	2	講義
ピアノ伴奏法演習 I	1	演習

授業科目名	単位	区分
ウィンドアンサンブル I-1/II-1	1	2 実技
ウィンドアンサンブル I-2/II-2	1	
楽曲分析 I-1	2	4 講義
楽曲分析 I-2	2	
楽曲分析 II	2	講義
音楽療法概論	2	講義
副科声楽	2	実技
副科器楽	2	実技
指揮法	2	演習
教育合奏	2	実技
音楽科教科教育法 ※	2	講義
教育原理 ※	2	講義
教育史 ※	2	講義
教職概論 ※	2	講義
教育心理学 ※	2	講義
発達心理学 ※	2	講義
特別支援教育 ※	1	講義
教育課程総論 ※	2	講義
道德教育指導論 ※	2	講義
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ※	2	講義
教育方法論 ※	2	講義
生徒・進路指導論 ※	2	講義
教育相談 ※	2	講義・集中
教育実習 ※	5	実習
教職実践演習 ※	2	演習

- この表に掲載されていない科目は、授業内容及び斉一性等の制約から原則として履修できない。
- 「-1」「-2」と記載されている科目は必ずあわせて履修すること。
- 個人レッスンの担当者は、本科生の受け入れを優先させるため、希望に添えない場合がある。
 ※専門実技レッスン時間：専門実技-1 (1回50分/15回)
 ：専門実技-2 (1回50分/15回)
 ※副科実技レッスン時間：副科ピアノ-1 (1回20分/15回)
 ：副科ピアノ-2 (1回20分/15回)
 ：副科声楽 (1回20分/15回)
 ：副科器楽 (1回20分/15回)
- 合唱、器楽合奏、フルートオーケストラ、声楽アンサンブル、及びウィンドアンサンブルは、「I-1・I-2」か「II-1・II-2」のどちらかの科目名での履修となる。
- ※印の付いた科目は教育職員免許状取得に関わる科目である。
 上野学園大学短期大学部卒業生に限り、本科在籍中に取得した単位と併せて、教職課程の修了を目指すことができる。本科在籍中の単位取得状況により、このほかにも履修が必要になる場合があるので、教職事務担当者の指示に従うこと。初年度に「教育実習」及び「教職実践演習」以外の科目を履修し、2年間で完了する計画を立てなければならない。教育実習先は個人で確保し、実習実施の確証を示すことが、履修許可の要件である。教育職員免許状は、個人申請により取得するものとする。